

一般社団法人 日本物理学会
第 69 期物理学史資料委員会 (2013 年 4 月～2014 年 3 月) 活動報告書

委員長：小長谷大介

委員：松川 宏 (担当理事)、赤羽 明、植松英穂、岡本拓司、小林典男、高岩義信 (副委員長)、
棚橋誠治、永平幸雄、並木雅俊、難波忠清、廣政直彦

1. 物理学史資料委員会の開催

下記のとおり、5 回の委員会議を行った。各委員会議の議事録は学会 HP で掲載された。

第 86 回物理学史資料委員会

日時：2013 年 9 月 5 日 (木) 16:00～18:00 場所：日本物理学会 4F 大会議室 (湯島)

第 87 回物理学史資料委員会

日時：2013 年 12 月 21 日 (土) 13:30～16:30 場所：日本物理学会 4F 小会議室 (湯島)

第 88 回物理学史資料委員会

日時：2014 年 2 月 6 日 (木) 11:00～16:00 場所：日本物理学会 4F 大会議室 (湯島)

第 89 回物理学史資料委員会

日時：2014 年 2 月 20 日 (木) 11:00～17:00 場所：日本物理学会 4F 大会議室 (湯島)

第 90 回物理学史資料委員会

日時：2014 年 3 月 8 日 (土) 11:00～17:00 場所：日本物理学会 4F 小会議室 (湯島)

2. 『年表』第二版の出版

『年表(1877-1995)～歴史のなかの物理学会～』(1996) に 1996-2011 年分を加えた第二版を 2014 年 3 月 20 日に発刊した。刊行部数は 1,000 部、頒価は税別 500 円。ただし、大会現地での販売は釣り銭等を考慮し税込 500 円とした。

第 69 回年次大会 (東海大学) 会場で販売をした。

3. 成田倉庫資料の事務局 (湯島) への移転作業

2014 年 6 月に解約予定の成田倉庫にある 350 箱分の資料を減じる方針 (当初の計画では 190 箱程度へ) を立てた。第一次段階の作業として、各資料を「保存」「保留」「移管 (廃棄)」の 3 種にラベル分けした。

4. 物理学史資料に関する情報

4-1. KEK 史料室では「史料室利用要項」を制定した。また、以前に西村純氏より KEK 設立の議論に関わる資料を追加した。

4-2. 核融合科学研究所・核融合アーカイブ室では、オーラルヒストリーの活動を継続的に実施している。

4-3. 坂田記念史料室では、2013 年 3 月に開催した E 研に関する研究会を行った。

4-4. 東京大学駒場博物館において玉木英彦氏の資料の整理を行っている。

4-5. 東北大学金属材料研究所は 2016 年に創設 100 年を迎えるために、記念事業が企画されている。

4-6. 旧海軍電波兵器研究関連施設である静岡県島田市の牛尾実験所跡が限定的に公開された。

4-7. 金沢大学資料館展示室での展示「平成 25 年度金沢大学資料館特別展 二十年目の邂逅 泣き別れになった四高物理実験機器」(平成 25 年 10 月 17 日～11 月 22 日)が行われた。

- 4－8．総研大を中心として、核融合科学研究所・核融合アーカイブ室などいくつかの機関の資料目録のウェブ上での公開が行われているが、いままで公開されていなかった総研大自体に関する資料も閲覧できるようになった。
- 4－9．高岩委員が代表をつとめる科研費によって、湯川、朝永、坂田史料のデータベース化が進められた。